

メタ認知（パーソナリティ）学習指導案

作成者 小林 星野 後藤

- 1、テーマ メタ認知（パーソナリティ）
- 2、めあて 自分の性格を多面的にとらえることができるようになる。
- 3、展開の視点 自分が思う性格と他の人が思う性格の違いに気づかせ、自分の性格の多面性を認知させる。
- 4、展開

時間	○学習活動 ・予想される反応	☆支援
導入 5分	○教師の性格について考える ・違うよ、そんなことないよと反対する。 ・自分の考える性格と人が思う性格に違いがあることを理解する。	☆自分が考える自分の性格を話す。
展開 10分	○自分の性格を考える ○友だちの性格を考える ○発表し合う ・照れて恥ずかしがる。 ・そんなことないよ、といった表情 ・言われたことに納得の表情	☆自分を客観的に見るためにこの活動をすることを説明する。 ☆自分の性格のいいところを見つけられるような支援をする。 ☆プラスの言葉限定で性格を表すようにする。
まとめ 5分	○メタ認知について説明を聴く ・	☆メタ認知の利点を語る。

5、参考文献

性格の心理：ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ / 丹野義彦著

☆他のグループからのコメントのまとめと改善点

- ・メタ認知の説明をもっとしてもらいたかった。

⇒メタ認知についてもっと教師側が知識を持っている必要があった。様々な場面でのメタ認知についても子どもがイメージできるように説明を加えたらよかった。

- ・性格を発表する時、マイナスな言葉だけ言われる子はかわいそう。

⇒プラスの言葉だけ性格を表す方法での授業を行うことも可能であり、今回はどのクラスでも行えるように、プラスの言葉だけで行う授業案にしたが、クラスによっては、限定せずに、行った方がより、多面的な自分に気づくことができると考える。また、もし、マイナスな性格ばかりを言われる子どもがいた場合、話し合いなどによってマイナスな言葉をプラスな言葉に変えることも可能である。クラスによって教師が判断し、授業を行う。

- ・自分の性格を考えるときに、客観的に自分を見るということを伝えた方がよい。

⇒気づけなかった点でした。授業案の支援の欄に加えました。

今回3人で授業を作り、メタ認知の深さを感じた。もっとメタ認知について知りたいと感じた。中高生が興味を示しそうな「性格」というキーワードをもとに、授業を作りましたが、みんなが楽しく授業を受けていたのでよかったと思います。

みんなからの意見を基に授業案を改善しました。中高生に心理学を教える機会は少なく、難しいですが、うまく取り入れていたらいいなと感じました。